

## 知的障害者に理解と協力を

### 福祉パレード

知的障害者福祉月間中の9月5日に館林・邑楽ブロック福祉パレードが行われ、知的障害者やその家族、関係者が知的障害についての理解と協力を訴えました。

町では中央公民館で、江原助役、岡安町議会議員長、築比地教育長、町内関係者など約50人が出迎えました。

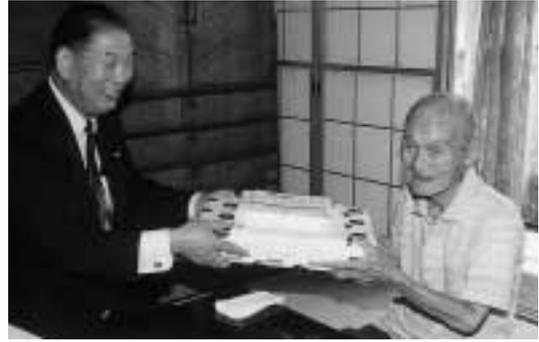
町の心身障害児(者)療育父母の会の和田会長は、「『新群馬障害者プラン』が推進され、障害者にとつて明るい未来が期待できることを念願しております」とメッセージを伝えました。



メッセージを伝える和田会長

## これからもお元気で

### 86歳以上を敬老慰問



斎藤町長から記念品を受ける吉田さん

町と町社会福祉協議会では9月3日、長年にわたり地域の発展に貢献されてこられた86歳以上、194人のお年寄りを対象に敬老慰問を行いました。

斎藤町長ら関係者が3班に分かれて高齢者の自宅や特別養護老人ホームの和の郷を訪問し、敬老年金・記念品を贈り長寿を祝いました。町で最高齢の新里の吉田源次郎さんは98歳。この日は、斎藤町長から「これからも、お元気にお過ごしください」と激励されると、「いつもありがとうございます」と笑顔で話していました。

## 喫煙マナーを守って！

### もくもくクリーン運動

館林邑楽たばこ販売増進対策協議会と館林たばこ販売協同組合明和支部では9月8日、同会役員や会員ら22人が、たばこの吸い殻などの清掃活動をする「もくもくクリーン運動」を行いました。

たすきを肩にかけた会員らは「喫煙マナーを守りましょう」と書かれた幟旗やビニール袋を手に、ふるさとの広場周辺に投げ捨てられたたばこの吸い殻などを拾い集めました。参加者は「思っていたよりごみが少なく、マナーが守られているようで嬉しいです」と話していました。



たばこの吸い殻等を拾い集める会員たち

## 自慢の歌や踊りを披露

### 地区別敬老会



会場で熱唱する浅野さん

地区別敬老会が9月9日(西部)、12日(東部)、19日(中部)に老人福祉センターで行われました。

敬老会は、お年寄りのかたがたが地域社会との交流を深め、楽しく過ごしていただくことを隔年で行われています。午前の部では、老人クラブの会員などによる自慢の歌や踊りが披露され、会場からは大きな拍手が送られました。午後の部では、演歌歌手の浅野英子さん、中島直美さんの歌謡ショーが行われ、会場につめかけた約200人はプロの歌声に酔いしれていました。